


整理番号	HT25077	分野	農学	(キーワード)	アフリカ・農業開発
------	---------	----	----	---------	-----------

## 東京農業大学

### プログラム名 飛び出せアフリカへ!! 国際農業開発最前線

先生(代表者)	中曽根 勝重(なかそね かつしげ)東京農業大学・助教			
自己紹介	西アフリカの農業様式と農業の担い手構造を解明し、農業・農村開発の方途を探る研究を行っています。専門は、農業開発経済学です。ガーナへは20回以上訪問しており、他にもナイジェリア、ニジェール、ブルキナファソ、シエラレオネなどにも調査に行きました。 今年には横浜で第5回アフリカ開発会議が開催されます。停滞から成長へ向かうアフリカについて、皆さんと一緒に考えましょう!			
開催日時・ 主な募集対象	平成25年7月28日(日)	(対象)	高校生 (学年不問)	(人数) 25名
集合場所・時間	東京農業大学世田谷キャンパス 2号館3階国際農業開発学科共通利用室	(集合時間)	10:00(受付は9時半~)	
開催会場 (集合場所)	東京農業大学 住所:〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1 アクセスマップ: <a href="http://www.nodai.ac.jp/access/map_s.html">http://www.nodai.ac.jp/access/map_s.html</a>			
<b>内 容</b>				
アフリカの発展の基盤となる農業開発に何が大切なのかを考え、理解することを目的として、重要な輸出産品であるカカオやその他の輸出農産物の生産と貿易、飢餓撲滅の切り札となるネリカ稲やヤマイモの生産・普及、環境との関わりが深いマングローブなどをテーマとした3つの体験型講義(講義+関連の実験や圃場実習)を実施する。その他にも農業発展における生物多様性の重要性を示すために、バナナなどの標本も展示する。合わせて、科学研究の楽しさや意義を体感することを目的とした研究者・留学生とのランチタイム、その興味や将来への決意を新たにするためのディスカッションタイムなどを設け、参加者全員が、生物多様性の意義を理解し、それを活用したパワフルなアフリカ農業を実現するために何ができるかを考える機会とする。				
<b>スケジュール</b>			<b>持 ち 物</b>	
09:30~10:00	受付			○ 筆記用具 ○ ノート ○ タオル
10:00~10:20	開講式(参加者紹介、スケジュール案内、諸注意) 科研費の説明			
10:20~11:20	「アフリカを支える輸出農産物」(座学)			
11:20~11:30	小休憩			
11:30~12:15	「アフリカのおもしろい地形と植物」(座学)			<b>特 記 事 項</b>
12:15~13:15	「バナナで多様性を学ぶランチ」			簡単な作業をしますので、動きやすい服装で来てください。なお、昼食は準備してあります。
13:15~14:50	(留学生やアフリカ滞在経験学生との懇親と昼食)			
14:50~15:10	「アフリカのイネとイモ」 (講義と圃場での観察や収穫体験)			
15:10~15:30	小休憩			

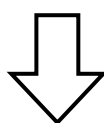
15:30～16:00	「アフリカで何をしたいか、何ができるか」 (全員での質疑応答とディスカッション)	
16:00～16:30	閉講式 (アンケート記入、未来博士号の授与、記念撮影)	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	エクステンションセンター事務室・成田 昌之
住所：	東京都世田谷区桜丘 1-1-1
TEL 番号：	03-5477-2562
FAX 番号：	03-5477-2643
E-mail：	shougai@nodai.ac.jp
申込締切日：	平成25年7月24日(水)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
中曽根勝重	H20～ H23	若手研究(A)	20688010	西アフリカにおける農業生産構造の 解明と農業・農村開発の方途に 関する研究
中曽根勝重	H17～ H19	若手研究(B)	17780176	ガーナにおける伝統的な営農様式 の解明と農業生産性向上の方途に 関する研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。